

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会 NEWS 第225号

令和7年10月30日発行  
事務局：県立青少年センター  
科学部 科学支援課  
電話：046-222-6370

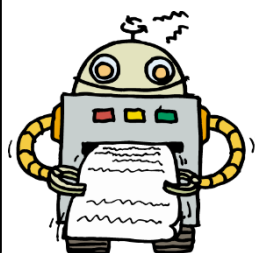
## 中高生サイエンスキャリアプログラム 特集号

今年の夏は昨年度に引き続き記録的な「猛暑」でしたが、会員の皆様のご協力により昨年度より多くの講座・イベントを実施することができました。今号では、中高生対象の「中高生サイエンスキャリアプログラム」を紹介いたします。

\*\*\*\*\*

### 「中高生サイエンスキャリアプログラム」とは

県内の中高生が、当「協議会」会員である大学・科学館・企業等の施設を訪問し、施設見学、職員・研究者による特別講義、科学体験に取り組むことにより、将来の進学や就職を考えるきっかけとする事業です。今年の夏は会員の皆様のご協力により 12 の施設で実施することができ、のべ 139 名の中高生が参加しました。

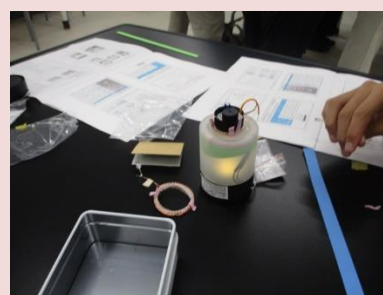
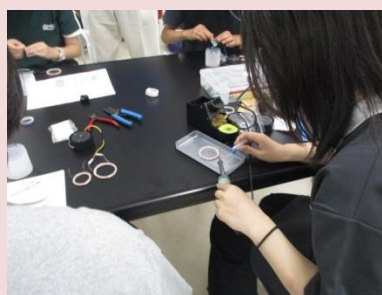


#### 7月12日(土) 鎌倉女子大学 家政学部管理栄養学科 身近な食材から遺伝子の本体「DNA」をとりだしてみよう



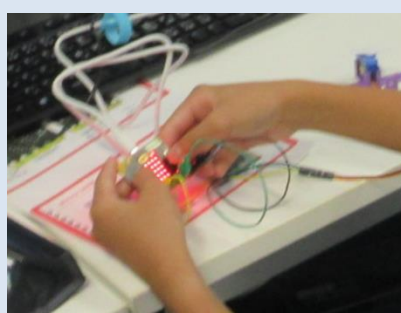
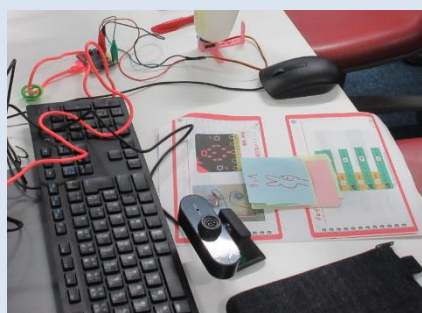
様々な野菜や果物の中から好きなものを選び、DNAの抽出実験を行いました。

#### 7月19日(土) 公益社団法人 日本技術士会神奈川県支部 ワイヤレス給電：非接触給電を使ってLEDを点灯させよう。



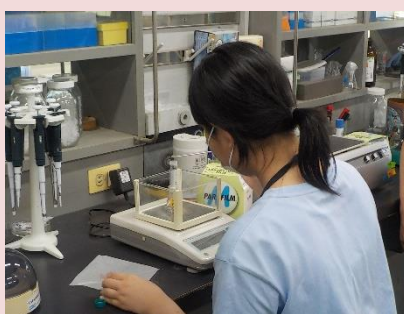
太陽光発電した電気を、電磁誘導によりワイヤレスでLED点灯させる実験と工作をしました。

7月25日(金) 青山学院大学 社会情報学部  
プログラミングで動くおもちゃを作ろう



機械学習やマイコンボードを組み合せ、Scratch でプログラミングしました。

7月26日(土) 北里大学 薬学部附属薬用植物園  
人類の知恵を知る～昔ながらの薬づくり体験～



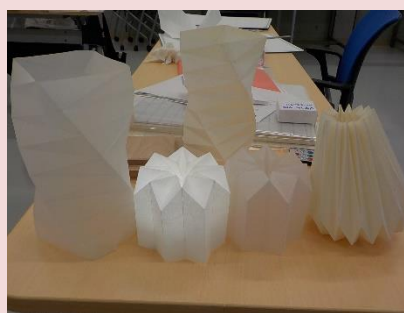
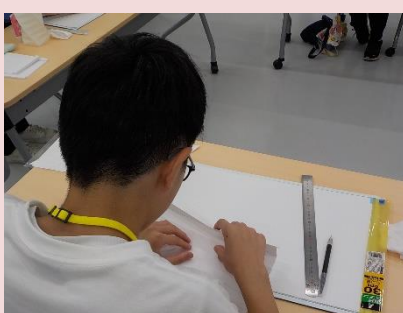
薬用植物園を見学し、実際に昔ながらの製法で軟膏の作り方を学びました。

7月28日(月) 株式会社ミットヨ ミットヨ測定博物館  
長さの精密測定 0.001mmの世界を測定体験しよう



博物館の見学やマイクロメーター等の測定体験を通じて測定器について学びました。

7月29日(火) 神奈川県立産業技術短期大学校  
紙を折ってつくるランプシェード



紙を折ることで強度が上がるものと立体的なデザイン表現ができることを学びました。



8月1日(金) 北里大学 医療衛生学部保健衛生学科 公衆衛生学  
食中毒・感染症対策～見えない汚れを可視化する～



手に付いた細菌の培養やATPの拭き取り検査を通じ、感染症対策について学びました。

8月5日(火) 鎌倉女子大学  
女子中高生のためのキッチンサイエンス教室 科学的なミニ豆乳マヨネーズ作りに挑戦！



成分無調整豆乳，食酢，菜種油から成るミニマヨネーズ作りを通した探究活動を行いました。

8月9日(土) 北里大学 理学部  
ドライアイスの3つの不思議 ～二酸化炭素の体験型化学実験～



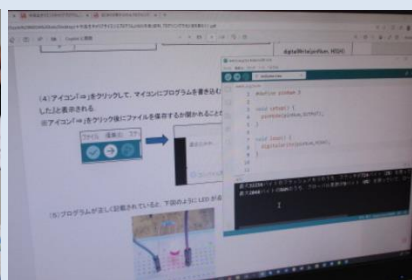
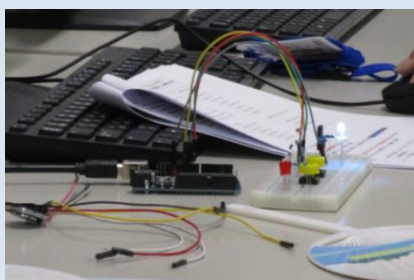
ドライアイスは昇華しやすいこと、水に溶解すると炭酸になること等を実験で確認しました。

8月21日(木) 北里大学 北里アクアリウムラボ  
飼育体験+君だけのオリジナル展示を考えてみよう！



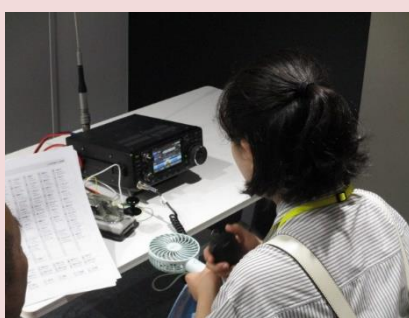
学生に丁寧に説明してもらい、アクアリウムの見学や餌やり体験をすることができました。

8月23日(土) 湘南工科大学  
プログラミングで光と音を操ろう！



プログラミングにより、自分の好きなようにLEDを点灯させたり、簡単な音楽を出力しました。

8月30日(土) 東芝 HERITAGE SQUARE  
通信の基礎を体験！ モールストランシーバーの製作



作製したモールストランシーバーで外部電波を受信したり、実際に用いられている無線機で交信体験をしたりしました。

## 参加者の満足度調査結果

来場者のアンケートによる満足度調査は右表の通りでした。129名がアンケートに回答し、5点満点の満足度で5と4を合わせると97.7%、全体の平均は4.7でした。どの講座も参加者の満足度が高いプログラムであったことが分かる結果となりました。会員の皆様のご協力ありがとうございました。

満足度	人数	割合
5	100人	77.5%
4	26人	20.2%
3	2人	1.6%
2	1人	0.8%
1	0人	0%



### 事務局から

現在事務局では11月16日開催の「青少年のためのロボフェスタ 2025」に向けて、鋭意準備を進めております。出展される会員の皆様よろしくお願いします。

次回の第226号では、「子ども科学探検隊」の様子を皆様に報告したいと思います。

夏の記録的な猛暑は影を潜め、秋らしい季節になってきました。事務局でも「科学体験の秋」となるべく活動を進めてまいります。今後とも会員の皆様のご協力よろしくお願いします。

(事務局：千葉、山田、山口、藤野)